

広報たかなべ

2011. 5. 20 NO. 370



- ・特集 自分の命をまもる
- ・シリーズ 高鍋を襲った口蹄疫[®] 最終回
- ・平成23年度 予算
- ・たかなべ未来づくり事業予算のご案内
- ・特定健診と特定保健指導であなたもメタボ予防！
- ・平成23年度 高鍋町消防団幹部・部長のみなさん
- ・平成23年度 高鍋町行政事務連絡員を紹介します
- ・まちの話題
- ・限りある資源をムダなく使いましょう
- ・わが町の宝物

4月20日、蚊口地区いきいき健康クラブは、高鍋町出前講座「我が家の防災対策」を受講しました。東日本大震災の直後ということもあり、参加者は、津波のことや蚊口地区の避難場所の確認を真剣に行っていました。参加した黒木美夜子さんは「助かるためには逃げるのが肝心」と話してくれました。

救命活動に全力を尽くしてきた緊急消防援助隊（※）

緊急消防援助隊宮崎県隊は、総務省消防庁の要請を受け、東北地方太平洋沖地震の災害対応にあたるために出動した。そのメンバーに東児湯消防組合の職員4人が含まれており、想像を絶する被災地での体験を次のように語ってくれた。

※緊急消防援助隊：大規模災害の際、全国の消防機関による支援を目的として1995年6月に創設される。宮崎県では、消火や救助および救急活動にあたる40隊が登録されており、今回は航空部隊8人、陸上部隊56人が被災地へ派遣された。



航空部隊

宮崎県防災救急ヘリコプター
「あおぞら」派遣

相馬 英夫さん

私は、あおぞらの隊長として12日早朝に岩手県花巻空港へ出発しました。現地には、全国から14機のヘリコプターが来ており、私たちは岩手県南部（主に大槌町や釜石市）の担当となりました。

1件目は、ビルの屋上で救助を待っている人たちの救出活動（下の写真）でした。そのとき上空から町を見渡すと、本当に町があったのかと目を疑うような光景が広がっており、あるのはがれきと津波の水だけでした。

また孤立している湾の避難所への通信手段がなく、ヘリから隊員を降ろし、直接必要なものを聞くということも行いました。

20日まで花巻空港近くの体育館で寝泊りをしての活動でしたが、かなりの寒さでした。その環境を考えると、やはり避難所生活をしている被災者の皆さんの健康面がとても心配です。

今後、大地震が発生したらまず高台に逃げること。これが先決です。また、日ごろからの非常食の備えも重要です。ただし、今回のような一刻を争うようなときにわざわざ取りに帰ってはいけません。

救急部隊



瀬川 幸一郎さん



益田 敬志さん



久家 孝太さん

私たちは、14日の夕方、県内の仲間とともに宮崎港を出発し、大阪南港を経て岩手県陸前高田市に向かいました。途中東海地方で発生した震度6強の地震災害対応のため、静岡県へ出動しましたが、地元での対応が可能との判断により、陸路で東北を目指し、17日午後5時に現地に到着しました。

私たちは救急隊としての参加で、避難所で急病人が出たら搬送するという任務に就いていましたが、避難している皆さんは、肉体的にも精神的にもかなり参っておられて、いつ病気になってもおかしくない状況でした。

地元の消防署員は「消防署に避難してきた住民6人と大津波の時に屋上の鉄塔にしがみついていた。その時、目の前を知人が流されていくのを見た」とふさがちに話してくれ、人間の無力さを感じたのだそうです。

高鍋町でもこのような大地震が発生する可能性は十分あります。今後は、もしかしたら…という危機感を個人個人が持ち、防災意識の向上に努めなければなりません。そして、そのことを家族で確認し合う必要があると思います。



③



④

右ページ写真①2階のロビー部分と思われるガラス戸やカーテンが無残にも破れている陸前高田市の建物（3月20日）

②がれきの中で横転している消防自動車。職員は乗っていないのだろうか（3月19日）

上写真③両脇ががれきの山となっている道路を走る、緊急消防援助隊宮崎県隊の車両（3月19日）

④震災2日目の夕方、水没した建物屋上から救助を求めて手を振る被災者（3月12日上空から撮影）

（写真提供：東児湯消防組合）



町は海水で浸かり、荒野状態と化した岩手県釜石市
（三月十三日 上空から撮影）



①



②

三月十一日午後二時四十六分ごろ、三陸沖を震源とする、日本の観測史上最大のマグニチュード（M）9.0を記録した東北地方太平洋沖地震が発生した。
この地震は、波高十メートル以上、最大遡上高は三十八メートル以上にも上る大津波を起こし、多数の死者や行方不明者を出した。またその後も余震が頻発し、広い範囲での被害が出ており、国はこの大規模災害を「東日本大震災」と名付けた。
テレビで見る衝撃的な映像は、まるで映画の一シーンのような凄まじさで胸が痛む。同じ規模の地震や津波が高鍋町で発生しても全然おかしくない。このような大規模災害から自分の命をまもるために、私たちはどうしたらよいのだろうか。
このたびの震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

●特集 東日本大震災」をどう受け止めるのか 自分の命をまもる

東日本大震災の被害状況（5月1日現在：警察庁）

1. 死者・行方不明者数	25,673人
2. 全壊建物数	77,442棟
3. 避難者数	約13万人

（原発事故の影響による避難を含む）

自分の手で自分たちを守る

～自主防災組織～

積極的な取り組み

海拔地図配布

現在、高鍋町内には、六つの自主防災組織があります。すべてが自治公民館を母体としていて、地域住民が自主的に防災活動を行っています。今回は、川田自主防災会の取り組みを皆さんに紹介します。

自主防災組織 結成

川田地区は、高齢者の割合が高く、災害時の避難活動などに不安を抱えていました。そんなとき、公民館長の橋口孝一さんが自主防災組織のことを知り、共感し、次の活動目的を掲げ、平成二十年六月に結成されました。

●活動の目的●

- 一、災害時は「自分の命は自分で守る(自助)・自分たちの地区は自分たちで守る(共助)」ことを目指す
- 二、地区住民が安心して暮らせる地域づくりを目指す
- 三、災害に備え、住民すべてが訓練等により防災知識を身につける



炊き出し訓練

「家族構成など詳しい情報は外には出せないけど、近所の人なら教えられる」と話す地区住民もいるなど、顔なじみだからこの協力が体制ができて上がっています。

工夫している点は、地区の行事と抱き合わせて炊き出し訓練を行っていることです。行事終了後に参加者全員で炊き出し料理を試食し、その時間を情報交換の場として活用しています。



高鍋町消防団第8部の協力を得て、消防ポンプ操作訓練を実施



東日本大震災を受け、町内各地の海拔を記載した地図を作成し、地区内に全戸配布しました。妻と二人暮らしという土田祐作さん(77)は「分かりやすい。歩いて行く近くの避難所が分かっている」と安心して話してくれました。



川田地区自治公民館総会に合わせ、自主防災組織関連議事の採決も行う

高齢者が多い川田地区で自主防災組織を結成したのは、住民が安心して暮らせる地域を作りたいと思ったからです。住民同士の連携がさらに深まり、いざというときに十分な助け合いができるよう、今後も積極的に声かけを行っていきます。



川田地区自治公民館館長 橋口 孝一さん



川田地区防災会長 岩下 通さん

結成時、先輩組織である老瀬と水除の協力をいただいていた勉強会開催はとても参考になりました。今後は、このような広域での連携・協力も視野に入れながら、川田地区住民の防災意識の高揚や各種訓練に力を入れていきたいと思っています。

自主防災組織とは、日本において災害対策基本法第5条2で規定する地域住民による任意の防災組織です。

★自主防災組織についてのお問い合わせ

高鍋町役場 総務課 危機管理担当 TEL: 26-2022



識

1. 「知識」を得ること



高鍋町では各地域からの依頼により、出前講座(※)を実施しています。やはり日ごろから防災についての知識を得て、意識をしておくことは大変重要です。5月6日には標高マップを全戸に配布していますが、ご覧いただいたでしょうか。また、町では町民の皆さんを対象にした訓練を行っていますので、積極的な参加をお願いします。東日本大震災を受け、現在ある防災マップや津波ハザードマップの見直しを早急に進めていきます。

(高鍋町 総務課 危機管理担当 川野 和成)

※出前講座：町職員等が講師となって地域へ出張し、無料で講座を開催するもの。メニューは40種類ある。詳しくは、政策推進課情報政策係(TEL: 26-2003)へ。

蚊口学習等供用施設での出前講座で熱心に講話を聴く参加者の皆さん(講師は、総務課の川野和成 危機管理担当)

想

2. イメージすること

今回の地震直後に、仲間と実際に歩いて避難時間や避難場所を確認し、蚊口浜からの避難マップを作成しました。サーフショップイーストリバーのホームページに掲載中で、町民の皆さんにも十分に活用していただけたと思います。

いざというときに備えて、避難ルートをイメージしておくことはとても大事です。子どもには特にそうさせておきたいですね。

(町内在住プロサーファー 東川泰明さん)



避難マップでルート確認を行う東川さん(写真最左)

話

3. 確認し合うこと

私たち一家は、仕事の関係で数年間青森県三沢市に住んでいました。だから3月11日の地震が起こったときは、連絡が取れない友達の安否をとて心配しました。数日後連絡が来て安心しましたが、危機感を持った家族で再確認を行いました。また、渋滞を考えると「自転車がベスト」との意見も出たところでした。

(町内在住: 矢原淳さんご一家)



食卓に新聞を広げて、震災について話し合う矢原家の皆さん

私たちにできること

Proud! Japan

備

4. 備えておくこと



大規模災害が起きると、寸断されたライフラインの復旧にかなりの時間を要し、被害が広範囲に及ぶと救援物資が届くのにも数日間かかります。その間、みんな生き抜かなければなりません。

そのためには、自分で数日分の食料などを日ごろから備えておくことが重要です。また、家具類の固定も必要です。

【主な非常持出品】

携帯ラジオ・懐中電灯・水またはお茶・非常食品(乾パン・缶詰・レトルト食品・ドロップなど)・タオル・救急薬品・紙皿・紙コップ・スプーン・缶切り・ティッシュペーパー・軍手 など

お知らせ

高鍋町では、東北地方太平洋沖地震による被災者を支援するため、義援金の受け付けを行っています。義援金は、高鍋町義援金配分委員会での決定により、日本赤十字社および被災地の地方公共団体へ配分されます。

●口座振込

高鍋信用金庫 本店 普通 1361050
口座名義：高鍋町東北地方太平洋沖地震義援金 高鍋町長 小澤浩一

●持参先・現金書留送付先

役場政策推進課 (TEL: 884-8655 高鍋町大字上江8437番地)

今回の取材を通して、震災後に自分でマップを作成した東川さんや、自分の行動力のある町民の皆さんを多く見ることができた。また、川田地区では高鍋らしい人の温かさとても感じた。いざというとき、一人暮らしの高齢者など社会的弱者と呼ばれる方のサポート体制がしっかりできていた。災害発生時、冷静に行動できるように体に覚えさせておく必要があることも改めて学んだ。これからは、自然災害の恐ろしさを肝に銘じ、危機感をもって生活しよう。そして自分自身を守ることは、やっぱり自分自身なのだ。

特集 自分の命をまもる 終わり

昨年、宮崎県内で発生し、日本全体の畜産業や社会情勢を揺るがす深刻な事態を引き起こした家畜伝染病口蹄疫（こうていいえき）。高鍋町にある宮崎県家畜改良事業団で飼養されていたエース級の種雄牛を含む宮崎県内の二十九万七千八百八頭（平成二十三年二月十七日宮崎県発表）の家畜が殺処分されました。都農町での一例目確認から一年、宮崎県による終息宣言発表から八カ月が経過した今、この一年を振り返ります。

口蹄疫発生から1年… 高鍋町ドキュメント

4月20日	都農町で国内10年ぶりとなる口蹄疫の疑似患者を確認
21日	「高鍋町家畜防疫対策本部」設置
5月13日	宮崎県家畜改良事業団（高鍋町）の種雄牛6頭を西都市へ移動開始
14日	宮崎県家畜改良事業団の肥育牛で疑似患者を確認（高鍋町1例目）
15日	「高鍋町議会口蹄疫対策会議」設置
16日	高鍋湿原の休園決定（この後、ほとんどの町施設で利用制限が行われ、イベントや大会が中止や延期になるなど私たちの生活に大きな影響を及ぼした）
17日	「口蹄疫発生に伴うご協力お願い」チラシを緊急全戸配布
18日	宮崎県知事が県内全域に非常事態を宣言
18日	山田農林水産副大臣（当時）来町
22日	ワクチン接種開始
23日	ワクチン接種に関する畜産農家への説明会
6月3日	第1回関係市町長会議
8日	口蹄疫見舞金配布開始（畜産農家・法人／1回目）
14日	篠原農林水産副大臣来町
24日	疑似患者殺処分終了
30日	ワクチン接種家畜殺処分終了
7月1日	非常事態宣言一部解除
4日	県内最終確認（292例目）となる疑似患者を宮崎市で確認
16日	児湯地区周辺移動制限一部解除
17日	町内の種雄牛6頭の殺処分終了
18日	高鍋町周辺移動・搬出制限解除
26日	口蹄疫見舞金配布開始（畜産農家・法人／2回目）
27日	非常事態宣言全面解除 利用制限のあった町施設が全面開放
8月25日	口蹄疫見舞金配布開始（獣医師等／1回目）
30日	口蹄疫見舞金配布開始（畜産農家・法人／3回目）
31日	県立農業大学校・県立高鍋農業高校へ観察牛導入
9月14日	口蹄疫見舞金配布開始（獣医師等／2回目）
17日	町内の患畜農家へ県の観察牛貸付開始
9月30日	児湯地域家畜市場での子牛セリ市再開
10月7日	町の観察牛導入開始
10月22日	畜魂慰霊祭 口蹄疫経過報告・復興対策事業説明会
11月1日	経営再開
23 4月20日	畜魂慰霊碑への献花



高鍋町中尾の埋却現場



消毒作業



ワクチン接種へ



中尾埋却地にある慰霊碑



空っぽになった牛舎



高鍋町染ヶ岡の埋却現場

高鍋町へ県内外から多くの善意をいただきました

「高鍋町口蹄疫対策義援金」

※振り込みによる寄付は、通帳の表記のまま掲載（敬称略・順不同）
（三月一日～三月三十一日）

【個人】
▽前田和佳子▽酒巻裕一▽舟井博美
▽中山隆史▽渡辺文子▽小山譽恭▽
坂田史帆里▽徳積信夫▽村山哲子▽
篠田和子▽宮本聡子▽藤代國忠▽松
本はつよ▽寺本孝▽池田恵▽山本久
子▽佐藤祐介▽西村郁子▽杉本登志
子▽木村隆志▽生方恵泉▽田代将人
▽新垣清子

【団体】
▽エーワンリンク高鍋店▽ばんぶ

義援金	84,682,685	円
	621	円
※宮崎県およびムッチー牧場からの義援金含む。		
口蹄疫寄付金	9,401,586	円
	33	円
ふるさと納税（口蹄疫対策支援）	1,195,000	円
	29	円

※上記額は、昨年6月から平成23年3月31日までに受け付けた総額です。なお、3月31日をもって受け付けを終了しました。

温かいメッセージが添えられた義援金や支援物資が県内外から多数寄せられ、復興に向けての大きな励みとなりました。今後は義援金をもとにした「口蹄疫復興対策基金」により、畜産農家への支援や経済復興対策を行っていきます。多くのご支援をいただき、本当にありがとうございました。

「悲しみ」「むなしさ」「無気力感」…

このようなつらい経験乗り越え、畜産を再開した高鍋町の農家は多数あります。しかし、その件数は、約半数にしか達していません。その原因は、高齢、投資への不安、海外での口蹄疫まん延、TPP問題などさまざまのようです。

家畜伝染病予防法が改正され、防疫活動や対応など農家の義務が増えていく今後、畜産再開が撤退かという大きな壁にぶつかっているみどり農園の押川さんにお話を伺うことができました。



みどり農園社長
押川 拓矢さん

私の農場は、結局感染はせず、ワクチン接種による防疫処置となりました。口蹄疫の発生時期は、従業員とともに24時間体制で泊り込み消毒を行い、農場を守るのに必死でした。家族とも離れ、外出することもできず、食料は農場近くまで家族に運んでもらっていました。その努力もむなしく、殺処分を終わらせたときは、全身の力が抜け、二度と味わいたくない経験だと感じました。

口蹄疫発生前は、従業員6人と共に約5千頭の豚を飼っていました。その時から、農場は糞尿処理施設の改修を行う必要がありましたが、豚がいるとなかなか踏み込めないでいました。今回の口蹄疫により豚が全くなかったことで精神的なダメージは大きかったのですが、このピンチをチャンスにとらえ、施設改修を前向きに考え始めました。

しかし、このように再開を考え始めたころから、海外での口蹄疫まん延やTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）問題、飼料高騰などの問題が持ち上がり、糞尿処理施設や豚舎の老朽化による改修への莫大な投資を行うことに対して不安が大きくなっていきました。

また、今後の防疫体制の見直しや、埋却地確保も大きな課題です。

私は、祖父や父たちが立ち上げたみどり農園を守らなければ…という使命を強く感じています。早く何らかの形で農園を再開したいと思っています。まだ結論は出ていませんが、負けずに頑張ろうと思います。

また、たくさんの方々から多くの支援をいただきましたことに、この場を借りてお礼を言わせていただきます。

ありがとうございました。



①ダンプ荷台にキュウキュウ詰めて乗せられている豚（殺処分直前）

②ガスによる殺処分

（写真提供：みどり農園 押川さん）

口蹄疫を振り返って



産業振興課
長町 信幸 課長

口蹄疫は、人の気持ちや感情に深い爪痕を残していきました。私たち町職員は、国等の対応を農家の皆さんに届け、生の声を聴く業務に携わりました。皆さんの声は、家畜に愛情を持っていたからこそ出てきた声。町の職員も、その気持ちがよく理解できるからこそ、とても悩み苦しみました。

今後は、畜産業が、再び町の主産業として復活できるよう、しっかりと位置付けをさせ、防疫体制を構築し、農家の皆さんと一緒に努力していきます。

【取材を終えて】

東日本大震災の義援金を持参していたJ A児湯高鍋支部肉用牛部会の皆さんが「福島の牛や豚は餓死に追い込まれていく。口蹄疫もたまたまかっただけ、これもみんな（きつ）い」と話されたのを聞き、胸が痛みました。飼育している家畜に愛情をかけているからこそそのコメントなのでしょう。また、ここでも畜産再開がなかなか進んでいないという話を聞きました。

正直、町内の再開状況はもう少し良いと思っていたので、押川さんや肉用牛部会の皆さんのお話を聞き、衝撃を受けました。

現在も、海外で口蹄疫が連続して発生していることを聞くと、不安が消えることはありません。

私たちに大きな影響を与えた口蹄疫を忘れることなく、それぞれの立場でできることをやる、それが大切なかもしれ

たかなべさんの家計簿

町の予算をより身近に感じていただくために、一般会計予算を家計簿の形にして表してみました。なお金額の単位は「千万円」を「万円」に置き換えています。

収入の種類	収入額	割合	前年度割合	
給料	197万6,000円	29.3%	30.4%	自主財源
パート収入や不動産収入	44万9,000円	6.7%	7.1%	
貯金の取崩し	7万2,000円	1.1%	0.0%	
実家からの仕送り	381万6,000円	56.7%	53.2%	依存財源
借入金(ローン)	41万7,000円	6.2%	9.3%	
合計	673万円	100.0%	100.0%	

支出の種類	支出額	割合	前年度割合	
食費	140万8,000円	20.9%	21.2%	義務的経費
医療費・教育費	143万円	21.2%	19.7%	
ローン返済	75万6,000円	11.2%	14.0%	
家の増改築費	37万7,000円	5.6%	6.7%	投資的経費
光熱水費・生活用品など	91万9,000円	13.7%	12.0%	
保険料・町内会費など	87万3,000円	13.0%	12.5%	その他経費
子どもへの仕送り	88万7,000円	13.2%	12.8%	
親戚への援助	4万4,000円	0.7%	0.7%	
家・車の修繕費	2万8,000円	0.4%	0.3%	
貯金	1,000円	0.0%	0.0%	
臨時出費への備え	7,000円	0.1%	0.1%	
合計	673万円	100.0%	100.0%	

町税
使用料・手数料・分担金・負担金
基金からの繰入金
地方交付税・国・県支出金等
町債
人件費
扶助費
公債費
普通建設事業費・災害復旧費
物件費
補助費等
繰出金
投資・出資・貸付金
維持補修費
積立金
予備費

☆収入について

給与やパート収入、不足分の貯金取崩しといった、自分で得た収入(自主財源)は全体の約37.1%で昨年より0.4ポイント減となりましたが、実家が仕送り(依存財源)を増やしてくれる予定のため、収入の合計額は5,000円増となりました。実家は多額な借金をして援助している面も見受けられますので、手放して喜んでばかりはいられません。

☆支出について

食費やローン返済は減少傾向にありますが、医療費・教育費が年々増加しているため、ほかの出費を抑えながらの生活を強いられることになりそうです。おまけに「国民健康保険」「下水道事業」等への繰出金である子どもへの仕送りが0.4ポイント増えており、合わせると全体の3分の2を占めているのが現状です。少子化・高齢化社会対策のためにも社会保障に関する経費は年々増加しています。収入の増加が見込めない現状では、他の支出の状況を見ながら節約に努め、計画的に執行していく必要があります。

☆貯金について

平成22年度末の基金(町の貯金)残高は17億3,537万7千円で、金額の「千万円」単位を「千円」単位に置き換えると173万5,377円になります。財政健全化への取り組みもあり、昨年度末から40万1,258円(4億125万8千円)貯金が増えましたが、それでも年収(予算額)の4分の1程度にしかありません。

☆借金について

平成22年度末の町債(町の借入金)残高は69億5,197万8千円で、金額の「千万円」単位を「千円」単位に置き換えると695万1,978円になります。昨年度末から19万9,622円(1億9,962万2千円)減りました。

特別会計

	対前年度比
●国民健康保険	27億3,062万4千円 1.6%
●老人保健	- 皆減
●後期高齢者医療	4億1,267万7千円 3.9%
●下水道事業	3億9,997万8千円 △5.3%
●介護保険	14億3,121万1千円 0.5%
●介護認定審査会	1,142万7千円 △0.7%
●都市計画畑田土地区画整理事業精算金	151万2千円 △52.7%
●一ツ瀬川雑用水管理事業	1,700万7千円 △17.3%

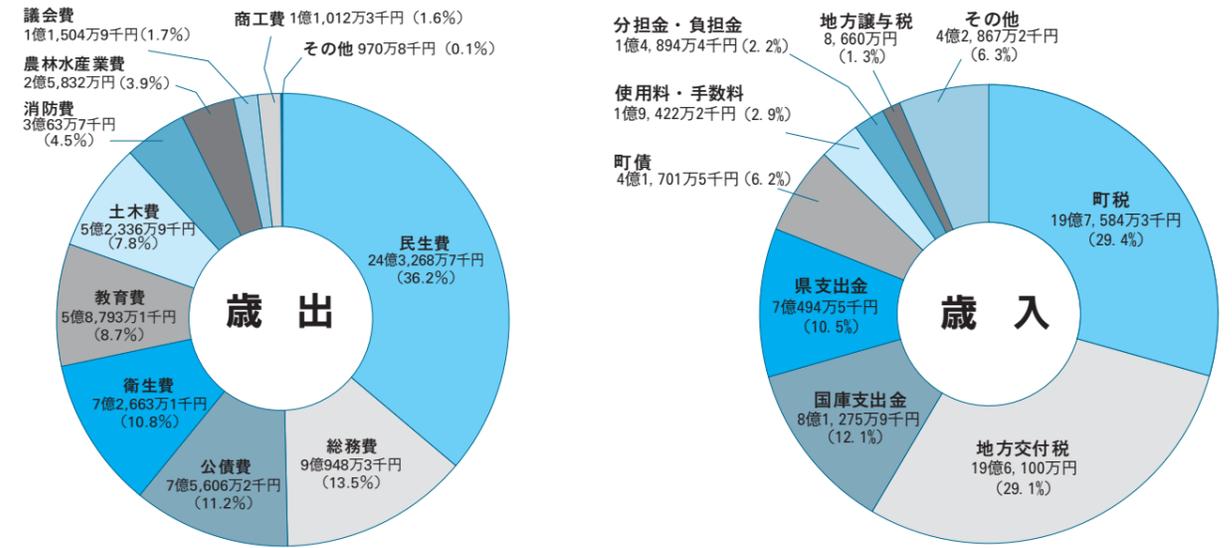
●水道事業		対前年度比
[収益的]		
収入	4億3,352万円	△0.6%
支出	4億7,085万3千円	0.7%
[資本的]		
収入	1億2,600万1千円	△2.6%
支出	5億1,839万2千円	55.7%

特別会計の総額(水道事業を除いた7会計)は50億443万6千円で、前年度に比べ微増(3,357万9千円、0.7%増)となりました。なお、老人保健特別会計は22年度で廃止となりました。

平成23年度 一般会計予算 67億3,000万円

町では、平成19年度から平成21年度までの「高鍋町財政改革推進期間」後も継続して歳出の抑制や自主財源の確保をはじめとした財政再建に取り組んでいます。一方、国は予算編成に多額の国債を発行して対応しており、今回大きな被害に見舞われた東北地方に、当分の間、重点的に予算措置をすることなどが考えられます。従って、今後もこれまで以上にこうした取り組みを強化し、持続的かつ安定的な財政運営を行っていくことが求められます。

平成23年度一般会計予算は、歳入・歳出についてさらに徹底した見直しを行い、財源不足の圧縮と経費のより一層の節減合理化に努め、「持続可能な財政基盤の確立」と「町民が主役のまちづくり」を目指した予算編成を行った結果、総額67億3,000万円(対前年度比500万円増)となりました。



主な事業

総務費	地域グリーンニューディール事業	82,352千円	衛生費	各種予防接種事業	66,127千円	
	町制110周年記念事業	2,990千円		合併処理浄化槽設置整備補助金	22,104千円	
	たかなべ未来づくり事業補助金	2,000千円		西都児湯環境整備事務組合負担金	245,205千円	
民生費	障害者等介護給付費	212,892千円	商工費	城下町高鍋まちなか活性化事業補助金	12,000千円	
	地域子育て支援センター事業補助金	7,250千円		スタンプカードイベント補助金	2,200千円	
	子ども手当交付事業	406,786千円		口蹄疫復興プレミアム商品券発行支援事業補助金	12,500千円	
農林水産業費	茶業経営構造改革総合対策事業補助金	8,850千円	土木費	社会資本整備総合交付金事業	128,295千円	
	高鍋町緊急生産調整対策推進事業補助金	19,804千円		山下・脇地区急傾斜地崩壊対策事業負担金	4,000千円	
	鳥インフルエンザ経営支援補助金	6,000千円		教育費	中央公民館舞台機構設備工事	37,000千円
	高鍋町自衛防推進協議会補助金	2,000千円			美術館ホールステージ拡張工事	700千円



中央公民館舞台機構設備工事へ 37,000千円



口蹄疫復興プレミアム商品券発行支援事業へ 12,500千円



特定健診と特定保健指導で あなたもメタボ予防！！

食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足のあなた、お腹の周りに脂肪がつきはじめていませんか。痩せていても、意外に内臓脂肪型肥満と診断される場合もあります。

自分自身の健康を守るためにも、特定健診と特定保健指導を受けましょう。

メタボ健診を受ける方にウレシイお知らせ♪

高鍋の国保加入者のメタボ健診負担金は1000円ですが、まいづるカード会の満点カードが1枚あれば無料でメタボ健診が受けられるようになりました！

そのうえ、まいづるカード会のご協力で、受診者に20ポイントが付きます。

これは、見逃せませんよ～★

平成二十年四月から、四十歳から七十四歳までの公的医療保険加入者全員を対象に、メタボに着目した特定健康診査および特定保健指導が始まっています。これらメタボの危険性の高い人を早期に見つけることを目的とした健診を通称「メタボ健診」と呼んでいます。

メタボ健診は「病気の早期発見のための健診」ではなく、いわば「予防のための健診」なのです。

また医療保険者には、健診のほかメタボ該当者やその予備軍に対し、生活習慣の改善に向けた特定保健指導も義務付けられています。

メタボに着目した健診

現在の日本人の死因の多くは、糖尿病や高血圧、心筋梗塞などの生活習慣病です。この恐ろしい病気の発症に大きく影響するのがメタボリックシンドローム(メタボ)です。メタボとは内臓脂肪症候群のことで、内臓についた脂肪が原因で、血圧や血糖、中性脂肪、HDL(善玉)コレステロールの値に異常が認められ、それが幾つか重なった状態をいいます。この状態は、大変危険です。

生活習慣病に大きく影響するメタボ

受診率と国保税

平成二十二年の本町のメタボ健診受診率は約三割で、国の目標受診率にはほど遠い状況です。この受診率の低さは、健康の不調に気付かない人の増加はもちろん、国民健康保険加入者にあつては、保険税アップへの影響も考えられるのです。

特定健診の受診率が、平成二十四年度に国の定めた六十五パーセントに達しない場合は、ペナルティが課せられ、保険税アップにつながることも考えられます。

今後の取り組み

平成二十三年度は、国保加入の対象者に対して、次の項目に取り組み予定です。

◎**看護師による受診勧奨**
電話や家庭訪問を行います

◎**実施箇所を増やします**
持田地区高齢者福祉センターと蚊口地区学習等供用施設でも健診を実施します

◎**積極的な広報**
メタボ健診の名称を目にする機会(広報紙の活用)を増やします

◎**出前講座の活用**

町職員が講師となって行う講座で、機会があるたびにPRを行います



健康福祉課
長友早苗
課長補佐

◆お問い合わせ

健康福祉課 国保・高齢者医療係 Tel: 26-2007

「忙しい」「自分は健康だ」「健診を受けると病気が見つかるから怖い」なんて思っている方はいませんか。そんな方こそ、特定健診をぜひ受けてほしいと思います。

また、生活習慣を改善するための特定保健指導対象者にはご案内をしますので、お気軽に受けてみてください。

自分の健康状態を知り、自分自身を大事にしてくださいね。

発表！ ★高鍋町内行政区別 健診受診率ベスト5★ (平成22年度)

- 1位: 石原 58.33%
- 2位: 松本 53.49%
- 3位: 下永谷 50.00%
- 4位: 小丸出口 44.50%
- 5位: 中町 44.44%

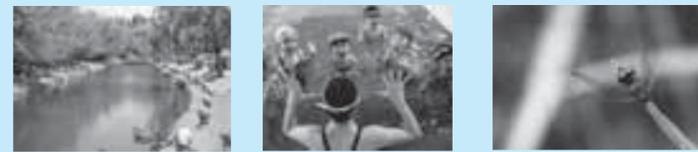
おめでとうございます！

さあ、今年度はど
こが上位に入るの
でしょうか？



【分野別のテーマ】

- (1) **心豊かな人づくり**
歴史・伝統・文化・教育に関する活動
- (2) **環境にやさしく快適なまちづくり**
自然環境・景観・防災に関する活動
- (3) **健康福祉のまちづくり**
福祉・保健・子育てに関する活動
- (4) **地域資源を活かした元気なまちづくり**
地域活性化に関する活動



- ▲**募集期間**
平成23年6月10日(金)まで
- ▲**応募資格**
3人以上の町民で構成された団体やグループ
※団体の法人格の有無は問わない。
※政治・宗教活動を目的とした団体は応募不可。
- ▲**交付対象事業**
上記のテーマに関する活動(事業)
◎**事業例**
 - ・町のオリジナルソング作成
 - ・子育て支援として子どもスポーツ大会
 - ・みんなで触れ合える各種教室
 - ・誰も知らないたかなべを撮った写真展
 - ・たかなべのペット大集合! など
- ※対象とならない事業
 - ・営利を目的とする事業
 - ・特定の個人や団体のみが利益を受ける事業
 - ・町などから補助を受けている事業

◆お問い合わせ 政策推進課 財政経営係 Tel: 26-2018

町民の皆さんからの 提案事業を募集しています！

～たかなべ未来づくり事業予算のご案内～

高鍋町では、平成二十三年度から「住民参画による快適で美しいまち(たかなべ)」をテーマに、将来にわたって町民が誇りを持ち、個性的で魅力のある地域社会の実現を図るために、町民の皆さんの提案による公共・公益性の高いまちづくり活動(事業)を募集しています。

町の総合計画に掲げる目標を、皆さんの行動力で実現してみませんか。
高鍋町の活性化を推進するために、あなたのご提案をお待ちしています。

- ▲**補助額**
上限 50万円(1事業あたり)
※この金額は、事業のうち、補助対象となる経費から事業実施に伴って得られる収入を差し引いた金額となる。
- ▲**一連の流れ(①→⑦)**
 - ①事業の提案 ②団体・事業についての審査
 - ③事業提案会 ④選考会 ⑤事業採択
 - ⑥事業実施 ⑦事業報告
- ▲**応募方法**
募集期間内に、事業提案書や団体調書など必要な書類を政策推進課へ提出
※様式は、政策推進課で受け取るか、高鍋町ホームページでダウンロードが可能。

★お知らせ

提案された事業を審査していただく「たかなべ未来づくり事業検討委員会」委員も同時に募集をしています。

平成23年度 高鍋町消防団幹部・部長のみなさん



(左から) 後列：一木6部部長、山本7部部長、黒木8部部長、林9部部長、白川10部部長、永友11部部長、関谷12部部長、永谷13部部長
中列：鈴木本部部長、河野直轄部部長、甲斐ラップ隊隊長、工藤1部部長、大重2部部長、松井3部部長、小澤4部部長、熊本5部部長
前列：日高生活安全係長、森下指導員、後藤副団長、坂元団長、久家東児湯消防組合救急課長、矢野副団長、加藤指導員、松行消防主任

平成23年度 高鍋町行政事務連絡員を紹介します

行政事務連絡員は、町長から委嘱を受けた非常勤特別職の地方公務員で、任期は4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。
町広報紙をはじめとした文書等の配布や町として周知していただきたい情報の伝達など、行政事務を円滑に進めるためのさまざまな業務に従事していただいています。



行政区名	氏名	行政区名	氏名	行政区名	氏名
蚊口西の二	西森幹太	旭通	清水一彦	水除	木之下勉
蚊口西の一	柏木昭子	上町	関師義孝	正ヶ井手	河野幸雄
蚊口中	田中敏文	松原町	白石秀人	小丸団地	五味守吉
蚊口上	小森正隆	小丸	福岡直樹	小丸出口	梅木實雄
蚊口下	大山三津夫	小丸下	内田郁夫	上江団地	菊池秀興
堀の内団地	磯野浩藏	畑田	吉野有三	馬場原	財津吉和
堀の内	溝口芳男	小丸上	武田康雄	中川原	松長宗男
下永谷	松木重義	後小路	結城秀範	川田	橋口孝一
上永谷	三輪勝範	宮越	大泉秀雄	羽根田	下大迫敬高
雲雀山	河原輝生	宮越上	日野正勝	青木	黒木洋史
水谷原	加藤智徳	南宮越	椎榮治	老瀬	安藤節男
越ヶ溝	片岡美利	道具小路西	木俣靖博	牛牧	太田政利
毛作	加瀬田暎義	道具小路東	北原寿生	南牛牧	比良正孝
新山	十河鎮男	道具小路南	矢野滋樹	市の山	飯干今朝人
大平寺	武田富美夫	中鶴	後藤陸尋	中尾	坂本常雄
脇	長友正三	樋渡	久保田洋	小並	岩村隆二
舞鶴団地	井上和裕	下屋敷	本部哲男	竹鳩	中島久憲
大工小路	松岡由起子	菖蒲池西	津曲智邦	切原	徳淵清美
宮田	佐藤哲朗	菖蒲池東	日高照夫	兀の下	川田賢治
筏	井上重行	大池久保	吉田由起子	坂本	温水重徳
蓑江	守部信秋	御屋敷	荒川勇	鬼ヶ久保	宮越昇
南町	山本敏生	萩原	仲武正臣	俵橋	猪上武雄
十日町	上野正彦	黒谷	高千穂昇	染ヶ岡	生島守光
六日町	染矢正弘	松本	薬師神徹	家床	金子悟
石原	内田茂徳	山下	小寺美津夫	持田	児玉康宏
東町	大薄浩二	西平原	原國雄	持田団地	宇野富子
中央通	前田富洋	北平原	杉原昭憲	正祐寺	矢野哲男
中町	笹淵嘉代	東平原	谷口敏明	鳴野	木俣秀明

◆お問い合わせ 総務課 行政係 TEL: 26-2001



消防団第10部 岩村 茂さん

◎**県で消防団活動を発表**
三月二十六日、宮崎県消防大会が宮崎市で行われ、高鍋町消防団第十部の岩村茂さんが意見発表を行いました。岩村さんは、父が入団させたこと、大震災時に普段の訓練が役に立ったこと、団活動を通して地域と貴重なふれあいを持つことなどを正直に発表し、多くの来場者の共感を得ていました。



しぎの様の踊りを披露するわかば保育園と一真持田保育園の園児たち

◎**桜色の華やかなステージ**
四月三日、舞鶴公園桜まつりステージイベントが盛大に行われ、多くの町民でにぎわいました。城跡の桜はなんとも趣があり、ほっと心を和ませてくれました。



まちの話



れんげを楽しみながらの渡り初め (4月17日)

◎**自然に癒されました**
昭和三十年代の農村風景を残すため、四季折々の景観づくりを進めている四季彩のむらでは、今年もれんげや菜の花が咲き誇り、訪れる人を癒してくれました。また村内に新しい橋が架けられ、四月十七日に地域の皆さんによる渡り初めが行われました。



受賞する 石井記念友愛社の 児島草次郎理事長

◎**今年は一団体が受賞**
四月十一日、中央公民館で第二十回石井十次賞贈呈式が行われ、大阪府の救世軍希望館と木城町の石井記念友愛社が受賞しました。石井十次生誕記念式典では、献花や生徒による意見発表が行われ、高鍋町が生んだ孤児の父を偲びました。また藤原正彦さんの記念講演も行われました。

節水例のご紹介

- 洗濯編**
 - 風呂の残り湯を利用しよう！まだ温かければ、効果的に汚れが落とせます。
- お風呂編**
 - 長時間のシャワーは使わない！16分間使うと浴槽いっぱい分の水の量になってしまいます…
 - 熱くしすぎない！ちょうど良い温度にするには、かなりの水を使ってしまう…
 - 残り湯は、掃除や散水に利用しよう！
- 炊事編**
 - 食器洗いは油分を紙でふき取ってから始めよう！
 - 流しっぱなしではなく、洗いおけにためて洗おう！
- 水洗トイレ編**
 - 大小レバーを使い分けよう！
- その他編**
 - 歯磨きの水はコップに汲もう！
 - 洗車はバケツに水を汲んでやろう！

※さあ、1つでも始めてみましょう。みんなでやれば、1つが大きな節水につながります★



お願い



上下水道課 森 俊彦 課長

◆お問い合わせ
上下水道課 上下水道管理係
TEL 22-1341

限りある資源をムダなく使いましょよう
宮崎県内では、一月からまとまった降雨がなく、小丸川水系における水事情は深刻さを増しています。このため、三月以降、小丸川の水を利用している農業関係団体などにおいては、取水制限を自主的に行っていたいただいています。現在、本町の上下水道は安定した給水を行っています。が、このままの天候状態が続くと、最悪の場合、給水制限を実施する可能性があります。給水制限を実施する可能性が、限りある資源を有効活用するため、節水のご協力をお願いします。

疲れ・肩こり・腰痛
17年の実績
はたの整体院
予約はこちら
TEL: 22-6070
高鍋町萩原公民館前

入れ歯とインプラント、どちらにしたらいいですか？
資料・DVD 無料 進呈中！
費用の目安や治療のメリット、デメリットなどインプラントに関する疑問・ご相談に無料でお答えしております。
0120-07-2418
年間相談数約5700件 PHS、携帯電話可 [受付時間] (月~土) 9:00~18:00
〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目4-5
日本歯科情報センター www.j-dic.jp J-DIC 検索

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

「広報たかなべ」有料広告募集!! ① 4.5cm×9cm=10,000円 ② 4.5cm×18cm=20,000円

※町ホームページバナー広告も随時募集しています。◆お問い合わせ：政策推進課 情報政策係 (TEL: 26-2003)

わが町の宝物

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。

今回は、3月・4月の健診に来た元気なちびっこたちです！

みんな元気に育ってね。



やまもと れいな
山本 礼菜 ちゃん



いけだ めい
池田 芽生 ちゃん



こだま れい
児玉 恋 ちゃん



さきの あいり
笹野 愛里 ちゃん



みぞぐち えいた
溝口 瑛大 ちゃん



たまい てるひろ
玉井 晴大 ちゃん



おかもと みお
岡本 光央 ちゃん



かみむら こうじろう
上村 虎士朗ちゃん



くらぎ ゆういちろう
黒木 佑一朗ちゃん



おがた まりの
緒方 穂乃 ちゃん



ひろせ りん
広瀬 凜 ちゃん



くらぎ ふくたろう
黒木 福多朗ちゃん



おきた なおき
沖田 直輝 ちゃん



くらぎ かほ
黒木 花穂 ちゃん



くらぎ ゆずは
黒木 優袖羽ちゃん



あらかわ
荒川 つぼみちゃん



ながい としまさ
長友 利正 ちゃん



こたに ゆの
古谷 柚乃 ちゃん



くらぎ なおと
黒木 直澄 ちゃん



うえの そうた
上野 颯太 ちゃん



むかい れんと
向井 蓮斗 ちゃん



みなみづる こと
南 鶴 湖音 ちゃん



とくだ なお
徳田 寧緒 ちゃん



ますいけ あみ
増池 亜美 ちゃん



よしもと りお
吉本 理央 ちゃん



まつば とうま
松葉 斗舞 ちゃん



ながお ともこ
長尾 朋子 ちゃん



やまさき しゅうすけ
山崎 湘介 ちゃん



どうい はな
土工 花菜ちゃん



あらた あやね
新 彩寧 ちゃん



たけなか ろうすけ
竹中 旺亮 ちゃん



おくの みずき
奥野 瑞紀 ちゃん



よこやま かえで
横山 楓 ちゃん

広報たかなべ 2011. 5. 20 NO. 370

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江 8437
政策推進課／☎ 0983 - 26 - 2003
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



人口と世帯数(5月1日現在・前月比)	
人口	21,613人 (+13)
男性	10,289人 (+12)
女性	11,324人 (+1)
世帯数	9,014世帯 (+29)



高鍋町美術館
企画展 **近藤えみ展**
～水の幻想～

● 会期
6月4日(土)～26日(日)
※月曜日は休館。

無限に表情を変える水。
その水の瞬間を作品に昇華させる、現代造形作家近藤えみさんの展覧会。
水と光と風を表現した幻想的な世界を高鍋町美術館で感じてみませんか。

◆お問い合わせ 高鍋町美術館 TEL: 23-8887